

京都の伝統工芸で 障害のある方が働く可能性を考える 勉強会のご案内

主催 京都市



京都市では、京都の伝統工芸において、職人として、障害のある方が担える仕事の可能性を考える取組を行っています。

そこで、障害福祉事業所と大学の職員の皆様が伝統工芸の業種を幅広く知り、工程を理解した上で、障害のある方が仕事に携わるために行う作業分解の手法について学ぶ勉強会を開催します。

また、伝統工芸の継承を目的に共通理解を高め、将来的に障害のある方が働く可能性がある仕事について、ディスカッションします。

開催日 平成29年 **2月21日(火)** 14:00~16:30

費用 無料

対象 障害福祉事業所の職員、大学の職員又は教員

会場 京都市勧業館「みやこめっせ」内
京都伝統産業ふれあい館

アクセス：市営地下鉄東西線「東山駅」から徒歩約8分
市バス32, 46系統

「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ

URL : <http://www.miyakomesse.jp/>



内容

当日の流れ

伝統工芸の展示ブースで、京都伝統産業ふれあい館の八田館長に作業工程を詳しく説明していただきます。

目的 京都の伝統工芸への理解を深め、障害のある方が仕事をするための作業分解などの手法を習得し、障害のある方が働く可能性について考える。

1 勉強会の目的を共有。
伝統工芸の仕事の「作業分解」を考えるワークショップの説明。

2 いくつかの特徴的な伝統工芸の工程を学び、理解を深める。
実際に、伝統工芸の作業を障害のある方ができるように「作業分解」を検討しシートに落とし込む。

会議室に戻り、それぞれが考えた「作業分解」を全員で共有。

